

謹白再昨歲玉均ノ事件ニ関シ一書セシ爾
承今日ニ至ルニテ声咳ニ接スルヲ得ズ且フ本
年二月 閣下ノ御就官實職ヲ執ラレハ
至リ加フルニ客歲保安條例ナルモノ、老布
アルヨリ某輩ノ如キ布衣身賤ノモノ、兎角
貴顯ノ邸内ニ出入シ難キ場合ニ立ケ至リタ
ルヲ以テ羨望勃ルノ情ヲ判レ今尚ホ拜謁
ノ機ヲ得ズ然レドモ尽國忠君ノ衷情慨
然此能ハズ茲ニ復々身簡ヲ呈シテ 閣下
ノ尊覽ヲ煩ハサントス 閣下 幸裁 以テ
教ニカラスト爲サズバ幸ニ笑覽ヲ辱フモ
ラレンコトヲ

謹而曩キニ條約改正中止ノ件ヨリ亟求社會
ノ状況ヲ觀察スルニ人情一般ニ激動ヲ生シ
爲メニ有志急代トカ建白捧呈トカ稱シ好
是金ノ貴重ナルヲモ顧ミズ金ト好トヲ
費メレテ遠隔ノ地方ヨリ續々東都ニ鳥集
シ此際何分極テラズ其極遠ニ官吏ヲ歐
打非難スルニ至ル可敷或彼ノ片因ノ如キ
一社中ノ錚々たるモノニシテ其國事ニ熱心ナル
ホ々世ノ輕浮男子ノ比ニ非ズ然ルニ一朝方
向ヲ過コリテ一途ニ鐵意ノ下ニ吟呻シ文
天祥正氣之歌ヲ反讀スルニ至リタル是レ
眞ニ野蠻ト云フニシ其後故何ナラズレテ
閣下ノ内閣ニ入り外務ノ要衝ニ當ラルハ、及
シテ世情初メテ少レク穩和ノ状態ヲ現出
セリ

謹而曩按スルニ 閣下ノ今日内閣ニ入ルニ
至リタルノ自由ニ與ラ社會ノ形勢ノ然ラシ
ム所以ニメ廟堂其人ニ至レク政府其器

シテ又世情初メテ少ク穂和ノ状態ヲ現出
セリ

謹和恩按スルニ 閣下ノ今日内閣ニ入ルニ

至リタルノ自由ニ專ラ社會ノ形勢ノ然ラシ

ル所以ニメ 癩堂其人ニ至レク政府其器

ニ稀レタルニ起 因スルヤ亦タ毫モ疑フニカラ

ズト雖ドモ曰大臣ノ条約改正ノ件ニ関シ大

敗シタル亦タ一部ノ自由トナリシヤ必セクソハ

兎モ帛條約改正中止ノ件ヨリシテ士ノ方向

ヲ過リ一身ノ前路ヲ失フモノナカラス 彼等各

國忠君ノ哀情ニ感スルニ勝一タリト雖トモ外

交上ホタ云フニカラサルノ秘密アリ速ブニカラサル

ノ困難アル所以ヲ解セサルニ眞ニ痛歎ノ至

リナリ 退ヒテ今ヲ去ル世有 全平ノ百ヲ顧ミル

ニ假ノ伊井將軍ガ確然不救ノ精神ヲ以テ大

丈夫之一言重於泰山ト断然執フテ自己ノ

持論ヲ貫徹セリトスルニガテシ、櫻田ノ花ト

屍ノ散ラストモナドタエムニキ大和魂トカ呼狂呼

賊任人評、多歲效雲一旦齋、正是櫻花好

時節、櫻田門外血如櫻、口吟レテガラ一

刀ノ下ニ天下無双ノ英雄ヲ断絶ヒシニ悲歎

モ亦タ余ヲアリト云フニ眞ノ豪傑一社會

ノ變論ヲ壓倒スルモノニシテ變論ニ從フヲ凶々

弄ヲ行フモノハ小丈夫子ヲタルモノ、所為ナリ

庸人ノ襲撃毀譽何ゾ意トスニ足ラレ社會

變論ノ際ハ即ケ英雄ノ胸中ニ在リ假ノビ

スニクカ新聞記者ヲ都拂ヒニ處シタルハ

亦タ以無キニ非ルナリ伊尼曾テ曰 敬管仲我

夫被髮左衽ト帝國曩キニ伊井以敬也ハ

吾人ニ天レ髮ヲ被リ衽ヲ左ニシタランニ幸ヒヤル

哉將軍ノ力ニヨリ今日既ニ今日ノ有様ニ至ル

ヲ得タリ時ノ士人ハ之レヲ是レ察セステ速ニ

血ヲ櫻田門外ニ流スニ及ビタルハ再莫ニ國家ノ
タメニ措ヒニヤヤク大レ然リ条約改正ノ件ニ関
シテハ其間ニ如何ナル困難ノアリタルヤ予輩
布衣ノ敢テ知ルトコロニ非ステ雖トモ中止
セサルニカラサルノ理由アリテ中止シタルモノナレバ
左程ニ難キ立ワルニ及フマニク條約改正中止ト
モ御沙汰有レバ國家ノ所謂有志者輩ノ
御不平ハ抑尤千万ナリト雖トモ法律ナリ規則

布衣ノ教一ヲ知ルトコロニ非スト雖トモ中止
セサル一カヲサルノ理由アリテ中止セタルモノナレバ
左程ニ難キ立フルニ及フモク條約改正中止ト
モ御沙汰有レバ國家ノ所謂有志者輩ノ
御不平一御尤十万余リト雖トモ法律上規則
ナリ若レニ不完全ナル所アルヲ以テ之ヲ完成セ
然ル後ニ之ヲ實行スニレト云フニアレバ童兒
カ拾モ甘芋ヲ焼クカ如キ感情ヲ起スニモ及
ブニレ然ルニ置カド 弊ハ恰モ穢カ降ノ群集スル
カ如ク難キ過ル輩ノ主義目的一果セラ那点
ニ在ルヤ予輩之ヲ解スルニ昔ハ所以ナリ難ク
モ躍ルモ他人ノコトナレバ昔島吾爾島爾教一
ヲ關係無キモノ、如レト雖トモ日本國ノ薄實
ナル日本人民ノ負之ナル有志志代トカ建白
捧呈トカ稱レテ三文ニモナラサルニ東西ニ奔
走レ遠隔ノ田舎ヨリ物價ノ騰ル高直ナル
都ニ出掛ケルトキハ國カラ萎靡スル勢ナラス
是レ其ノ大ニ憂慮スル所以ナリ政府ニ於テ
モ聲々穢ク遺レ立フルカ如ク揮テ遺レ
散ラス説ケニモ至ラザレバ相者ノ于順ヲ以テ之ヲ
放遺セサルニカクズ然レニ對スル費辭亦
必要ナク尤費費自減ノ今日ニ際シ假令ハ天保一
収タリトモ何處ノ穴藏ヨリ出フルモノナルヤ大
藏貴ノ金庫モ決メ蘇氏ノ所謂無尽藏
ニ非レニレ是レ其ノ國家ノタメニ憂フル所以
ナリ伏知問フ 閣下ノ高見一如何 其ハ閣下
ノ今日改進黨ノ主義ヲ懷ヒテ廟堂ニ立ケ外交
上ニ関レ世人ニ充分ノ満足ヲ与ヘセテ明治
二十三年ニ吾黨ノ會ヲ渴望スル *hope of*
your hope 閣下ノ今日内閣ニ入りタル所以ヲ察
セヌレテ或曰主義ヲ変レテ官途ニ就カレタリト
或曰云々是レ愚蒙取ルニ足ラサル奴輩ノ言
ニレテ敢テ論スルニ及ハズ蓋レ改進黨自由ノ主
義ヲ懷クモノ一官途ニ就ク一カヲサレ乎仕官スレ
ハ必スレモ主義ヲ変セサル一カヲサレ乎官ニ在ラ君ニ
竭スモ野ニ在ラ國ニ尽スモ其國家ノタメニ尽力
スル所以一ニノ所謂忠者一耳奴輩ノ評論
何フ介然スルニ足ラズ其ハ國家改進黨主義ノタメ

義ヲ懷クモノ一官途ニ就ク一カヲサル乎仕官スル
ハ必スシモ主義ヲ変セサル一カヲサル乎官ニ在テ君ニ
竭スモ野ニ在テ國ニ尽スモ其國家ノタメニ尽力
スル所以ハ一ニメ所謂忠者一耳奴輩ノ評論
何ゾ介然スルニ足ラシキ一國家改進黨主義ノクニ
閣下ノ就官ヲ大ニ祝スルモノナリ聊並言ヲ陳
スル慨然ノ鬱憤ヲ散ス望藏誠恐誠望
首白拜

於改草北元册十有一
控卿

望藏

大隈伯爵

閣下

重信殿

親展

遠藤愛藏